

平成29年8月23日
東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	この夏の飯南町新規就農者確保活動とその成果
-----	-----------------------

(ダイジェスト)

飯南町就農支援チームでは新規就農者確保対策として、新・農業人フェア（東京）や県主催の就農相談ツアーの対応を行いました。その結果、多数の相談者が飯南町お試し体験プログラムを希望し来町されました。うち1名が、総務省所管のふるさとワーキングホリデー事業により働きながら農業体験を行うこととなりました。

飯南町就農支援チームでは、問い合わせのある就農希望者に対し随時相談を実施する以外に、様々なイベント等に積極的に出かけ新たな就農希望者を掘り起こしています。

7月23日に東京で行われた新・農業人フェアには町農林・定住各担当、JAの営農指導員、及び当普及部就農担当の4名で28組の就農相談を実施しました。当日は夏休みで学生の来場者が非常に多く、飯南町ブースを来訪してきた相談者も約半数が学生でした。多くは将来、自営・雇用就農や農大進学を目指しており、そのなかで飯南町を就農先や農業体験の候補として紹介しました。興味を持つ学生は多く、1名が後述の就農相談ツアーへの参加を希望し、8名が夏休みや試験休みを利用し「飯南町お試し体験プログラム」で1週間程度の町内見学や農業体験を実施したいと回答しました。うち3名は8月中に来町し体験プログラムを実施することが決定しました。

また、8月5～7日には県主催の就農相談ツアーにチーム員4名で対応しました。ツアー参加者12名のうち5名（うち1名は前述のフェア参加者）を飯南町コースに案内しました。5名は町内新規就農者ハウスで農業体験を実施したり、昨年度ツアーに参加した先輩から研修状況を聞いたり、リースハウス団地や、稼働間もない新共同選果場見学を行いました。夜は地元新規就農者との交流会も開催されました。町内の様々な施設や声を見聞きすることにより2名が飯南町での就農を前向きに検討し、うち1名が8月20日から3日間ほど農業体験を再度実施しました。その結果、9月から2週間ほど総務省所管の「ふるさとワーキングホリデー」事業を活用し、施設園芸法人で働きながら農業体験を行うこととなりました。

就農支援チームとしては、今後來町する就農希望者に対し、一人でも多く自営・雇用就農に結び付くようチーム員一丸となって支援します。そのために毎月の就農支援チーム会議で情報共有を行い、支援制度や個別案件での課題を抽出し、各機関と連携しながら解決策の検討を重ねていくこととしています。



新・農業人フェア（東京）での相談の様子

※偶然にもこの相談者3名は全て来町が決定！！